

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和4年 1月 22日

公表: 令和4年 1月 31日

事業所名: チャイルドウィッシュ刈谷松坂

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0		
	2	職員の配置数は適切である	6	0		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	0		支援室内はフラットになっている。またフロアマットは分厚いものを敷き、万が一転倒が起きた際にもけがが起きないように施してある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	0		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0		朝礼やミーティングにて、児童情報や学校情報、地域情報の共有を徹底している。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	1		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	本部による各研修に参加し、知識向上に努めております。	本部研修を定期的に受講し、正しい知識を取り入れるよう、又、報告を行い、全職員の資質向上に努めて参ります。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	お子様、保護者様との関わりの中で課題を捉え、作成に努めております。	保護者様の思いを傾聴させて頂き、お子様にも寄り添ったサービス計画を提供できるように努めさせて頂きます。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	0		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	コロナ禍状況であるが、お子様が楽しめるように工夫しております。	日ごとにリーダー(全体指示、活動決め役)を決め、活動内容が固定化しないよう取り組んでおります。

	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6	0		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0		職員出勤時の朝礼にてその日の注意事項や共有事項などを伝え、前日に起きたこと等も情報共有している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	議事録を活用することで出勤日でなくても把握できるように工夫しております。	議事録を利用し、日々の振り返り、情報共有に努めております。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	0		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4	2		医療ケア児童を受け入れていない現状ですが、ニーズがある場合の受け入れについては、体制を検討した上での判断となります。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4	2		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0		送迎時に情報共有に努めている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	0		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	2		外出イベント時に地域児童との交流はあるが、コロナ禍のため、現在は交流の機会が無い現状である。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6	0		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0		
		31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	1	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0		ご契約時に、書面を通して説明させて頂いております。児童発達支援児童ご家庭は無償であるが、小学校入学(放課後等デイサービス利用切替)時に負担発生となることをお伝えしている。また、送迎時などに質問があった場合にもお応えできるよう、職員間の情報共有を徹底している。

保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	保護者様のお気持ちに寄り添う関わりに努めております。	お子様の悩みのみに限らず、ご家族の悩み等の相談に応じ、必要に応じて面談の機会を設けていきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	2	コロナ禍以前は、毎月開催し、情報共有や発達勉強会等の機会を設けたり、親子イベントも行き交流の機会を設けていた。	コロナ禍もあり、現在開催できていないが、計画・立案中である。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0		保護者様からのご相談に対して、可能な限り迅速に職員間で共有を行い、不安解消、ご理解頂けるように対応策を考え、適切な対応に努めさせて頂いております。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0		毎月、通信を発行し、連絡体制等に努めております。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	2		コロナ禍もあり、現在行えていないが、計画・立案中である。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0		各マニュアル対応に努めております。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0		3月訓練に向けて、立案中である。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	0		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0		書面にて記載し、職員全体に周知徹底を行い、同じことが起きないように努めている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。